

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス浜松西校		
○保護者評価実施期間	2024年 6月 15日 ～ 2024年 7月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2024年 6月 15日 ～ 2024年 7月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心してリラックスして過ごせる空間、関りを基本とし、そのように機能できている。	構造化を意識し、わかりやすく動きやすい家具の配置や動線を作っている。	個々の状態にも配慮した環境作り。
2	相談しやすい存在として家庭と関わっている。	視覚的にわかりやすいように、写真やイラスト等でスケジュールや使用する道具やおもちゃ、約束等を提示している。	保護者会や連絡会等、多くの家庭が気軽に集えるような機会を作り、更に家庭との関係性を築いていきたい。
3	年齢差があり多様な学校、障害の利用児が多い事で新しい関係性が生まれ、それを仲間作りへ持って行っている。	環境を整えたうえで子供の自主的な動きを待つ事。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員全員の共通認識の確認がとりにくい。	職員の勤務体制が異なるため、全員で話す時間が少ない。 経験や背景、考え方が違う中で、基本的な理念や必要な知識を共有出来ずに、実際の支援に追われてしまっている。	勤務時間や雑務を調整し、じっくりと話し合える時間を確保する。
2	個別支援計画作成や支援プログラムを職員全体で参画できていない。	職員全体が放能等デイサービス計画についてわからないことが多く、児童発達支援管理責任者の原案ありきになっている。	個別支援会議を通し、アセスメントやモニタリングから作成に至る過程を学習できるようにしていく。
3			